

		J-VERの諸規則(実施規則、モニタリングガイドライン等に基づいた適正な報告がなされているかについて、以下に関する書類審査及び現地審査による検証審査を実施した。 1. 本プロジェクトの実施が方法論No.R001 Ver.4.1に規定する適格性基準を満たしているか。 2. モニタリング計画書に定められた方法・手段に基づいてモニタリングが実施されているか。 3. CO2吸収量の計算がモニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用)Ver.3.0等に沿って適切に行われているか。 4. 実施体制、教育訓練、内部監査、計測器管理等を含むQA/QCの実施状況の確認。 5. 不確かさ及び誤りの評価確認。 6. 関連する許認可及び関連法令等の遵守状況及びその他のリスクに関する状況				
排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011(~11/30)	2012
	t-CO2	3,065				—
検証結果の要約		JACO CDMは、本プロジェクトの対象となった大館市の森林を対象に、モニタリング期間(2008年4月1日~2011年11月30日)における温室効果ガス吸収量を検証した。 検証の結果、オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく本プロジェクトに関するモニタリング報告書(最終版 Ver.1.0, 2012年2月10日)は、モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用)に準拠していることを確認した。 また、同報告書に記載された温室効果ガス吸収量3,065 tCO ₂ は、自主変更されたプロジェクト計画書(Ver.1.2)及び同別紙(Ver.1.2)に基づいて算定されており、検証の過程で発見された誤りは全て修正され合計0 tCO ₂ となり、J-VER制度妥当性確認・検証ガイドライン(Ver.2.0)に規定する重要性の判断基準である5%以内となっていることを確認した。 以上のことから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。				

ⁱ 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。